2026年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会

2025年11月13日

株式会社エヌアイデイ

(証券コード:2349)



- 1.2026年3月期第2四半期(中間期)連結決算概要
- 2.2026年3月期通期連結業績見通し
- 3.トピックス
- 4. 株主還元

付録:会社概要/データ資料

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後の日本経済や情報処理業界の動向、新たな サービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございます。あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。



1.2026年3月期第2四半期(中間期)連結決算概要

2.2026年3月期通期連結業績見通し

3.トピックス

4. 株主還元

付録:会社概要/データ資料

連結損益計算書



(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期(中間期) 実績	2026年3月期 第2四半期(中間期) 予想	2026年3月期 第2四半期(中間期) 実績	前期比	予想比
売上高	11,996	12,000	12,774	+6.5%	+6.5%
営業利益	1,521	1,250	1,446	△5.0%	+15.7%
営業利益率	12.7%	10.4%	11.3%	△1.4pt	+0.9pt
経常利益	1,715	1,370	1,565	△8.7%	+14.3%
経常利益率	14.3%	11.4%	12.3%	△2.0pt	+0.9pt
中間期純利益	1,130	940	1,081	△4.3%	+15.1%
中間期純利益率	9.4%	7.8%	8.5%	△0.9pt	+0.7pt

売上高・営業利益のセグメント別(前年同期比較)



(単位:百万円)



2025年3月期第2四半期(中間期)実績

2026年3月期第2四半期(中間期)実績

■営業利益



2025年3月期第2四半期(中間期)実績

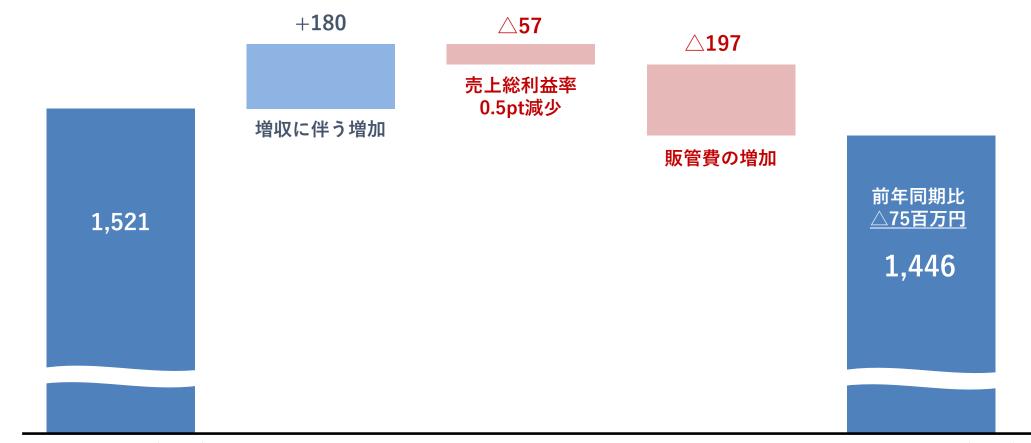
2026年3月期第2四半期(中間期)実績

営業利益差異分析(前年同期比較)



(単位:百万円)





2025年3月期第2四半期(中間期)実績

2026年3月期第2四半期(中間期)実績

セグメント別売上・利益構成



(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期(中間期)実績		2026年3月期 第2四半期(中間期)実績		前年同期比				
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率
システム 開発事業	8,332	1,135	13.6%	8,842	1,055	11.9%	+6.1%	△7.1 %	△1.7 pt
システム マネジメント事業	2,817	285	10.1%	3,015	314	10.4%	+7.0%	+10.3%	+0.3pt
その他事業	846	96	11.5%	917	73	8.0%	+8.3%	△24.2 %	△3.4 pt
連結計	11,996	1,521	12.7%	12,774	1,446	11.3%	+6.5%	△5.0%	△1.4 pt

セグメント別売上高



その他事業

エヌアイデイ/NID・MI/NID air 2026年3月期第2四半期(中間期) 売上高

917百万円

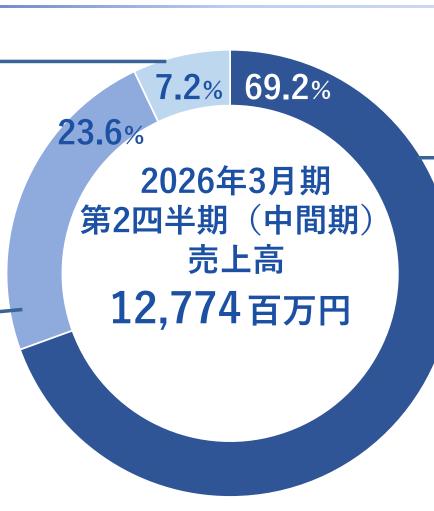
- データソリューション分野
- 人材派遣分野
- プロダクト分野

システムマネジメント事業

エヌアイデイ 2026年3月期第2四半期(中間期) 売上高

3,015 百万円

- 運輸・通信分野
- 金融・保険分野
- 官公庁・団体分野
- 建築・製造分野
- 卸売・小売分野
- その他分野



システム開発事業

エヌアイデイ/NID・MI/ NID東北/テニック

2026年3月期第2四半期(中間期) 売上高

8,842 百万円

- 金融分野
- 情報・通信分野
- 公共・社会インフラ分野
- カーエレクトロニクス分野
- FA·装置制御分野
- 官公庁・その他分野

システム開発事業



(単位:百万円)

■売上高・	営業利益
-------	------

		_			
		2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前期比	要因
	売上高	8,332	8,842	+ 6.1%	売上高が増加した一方、採算 ・性の低下した案件が発生した
-	営業利益 (営業利益率)	1,135 (13.6%)	1,055 (11.9%)	△ 7.1 %	ことにより増収減益
	▇分野別売上高				
	金融・保険	2,232	2,278	+ 2.1%	生保・共済系が好調に推移
-	情報・通信	2,290	2,415	+ 5.5%	既存顧客の案件拡大、および 新規領域の参画が寄与
_	公共・ 社会インフラ	2,255	2,451	+ 8.7%	電力系案件、防衛関連が好調 に推移
	カーエレクトロニクス	817	833	+ 2.0%	主要顧客の受注が好調に推移
-	FA・装置制御	498	670	+ 34.5%	主要顧客の受注増に加え、採 算性の改善も寄与
	官公庁・その他	238	191	△ 19.8%	テスト工程のスポット案件が 剥落

	<u>+ 1+ 60 = </u>		(単位:	É
■売上	:高・棒グラ	77	8,842	
	8,332	官公庁・その他	191	
	238	FA・装置制御	670	
	498	カーエレクトロニクス	833	
	817	7. #		
	2,255	公共・ 社会インフラ	2,451	
	2,290	情報・通信	2,415	
	2,232	金融・保険	2,278	
	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期	

システムマネジメント事業



■売上高・営業利益

	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前期比	要因
売上高	2,817	3,015	+ 7.0%	新規案件獲得による売上高の
営業利益 (営業利益率)	285 (10.1%)	314 (10.4%)	+ 10.3%	·増加に加え、採算性の改善等 により増収増益
■分野別売上高				
運輸・通信	1,275	1,403	+ 10.0%	主要顧客の受注が増加
金融・保険	483	498	+ 3.0%	構築系案件が好調に推移
官公庁・団体	435	446	+ 2.5%	運用体制再構築案件を受注
建築・製造	342	351	+ 2.6%	運用設計/構築案件の受注が 好調に推移
卸売・小売	111	99	△ 10.2%	出版関連の縮小が影響
その他	169	216	+ 27.4%	運用支援業務が好調に推移

■売上高・棒ク	ブラフ
---------	-----

	(単位:	: 百万円)
3,0	15	

2,817		216
169	その他	99
111	卸売・小売	351
342	建築・製造	
435	官公庁・団体	446
483	金融・保険	498
1,275	運輸・通信	1,403

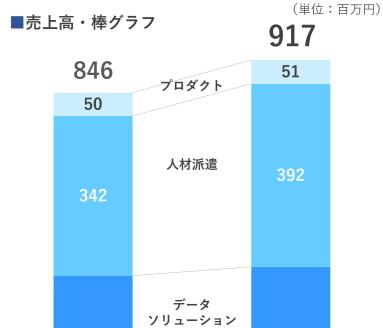
2025年3月期 第2四半期 2026年3月期 第2四半期

その他事業



■売上高・営業利益

	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	前期比	要因
売上高	846	917	+ 8.3%	売上高が増加した一方、短納
営業利益 (営業利益率)	96 <i>(11.5%)</i>	73 (8.0%)	△ 24.2 %	- 期の案件対応により採算性が 低下し増収減益
■分野別売上高				
データ ソリューション	454	473	+ 4.3%	共済保険関連の案件獲得
人材派遣	342	392	+ 14.6%	地方公共団体での補助金関連 業務が伸長
プロダクト	50	51	+ 1.6%	_



454

473

セグメント別売上高・営業利益率推移





連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2025年3月期 年度末	2026年3月期 第2四半期 (中間期)末	増減額	主な増減要因	
流動資産	20,769	21,276	+ 507	 現金及び預金 売掛金	+ 643 △214
固定資産	7,464	7,858	+ 394	仕掛品 有形固定資産	+ 54 + 93
資産合計	28,233	29,134	+901	投資有価証券 繰延税金資産 	+465 △151
流動負債	3,492	3,315	△ 177	買掛金	+54
固定負債	3,210	3,200	△ 10	未払金 未払消費税等 賞与引当金	△117 △89 +67
負債合計	6,703	6,515	△ 188	受注損失引当金	△98
純資産合計	21,529	22,619	+ 1,089	利益剰余金 その他有価証券評価差額金 配当金の支払	+776 +310 △305
負債純資産合計	28,233	29,134	+901		

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期 (中間期)実績	2026年3月期 第2四半期 (中間期)実績	主な要因	
営業活動によるCF	1,236	1,108	税金等調整前中間純利益 売上債権の減少 法人税等の支払額	+1,565 +184 △532
投資活動によるCF	△14	△157	有形固定資産の取得による支出	△128
財務活動によるCF	△297	△307	配当金の支払額	△305
現金及び現金同等物の増減額	924	643		
現金及び現金同等物の期末残高	14,454	16,133		



1.2026年3月期第2四半期(中間期)連結決算概要

2.2026年3月期通期連結業績見通し

3.トピックス

4. 株主還元

付録:会社概要/データ資料

事業環境



国内経済

●大企業業況判断DI

大企業製造業の業況判断指数は、小幅ながら2四半期連続で改善。日米関税交渉の合意による警戒感の後退や、コスト増加分の価格転嫁進展が背景。

大企業非製造業の業況判断指数は、前回調査から横ばい。設備投資が堅調に推移する一方、 インバウンド消費需要の鈍化や物価高による消費の減速が影響。

(日銀短観2025年9月調査)

国内IT市場

●2025年国内ITサービス市場見通し

2025年はクラウド移行やモダナイゼーション、デジタルイノベーション実現の取り組みなどにけん引され、引き続き順調な成長の継続を見込む。

2029年までの年間平均成長率は6.7%を見込んでおり、2029年には国内ITサービスの市場規模が12兆1.651億円になると予測されている。

(IDC Japan 2025年6月23日発表)

当社への影響

- ●<u>システム開発事業は堅調に推移も外部要因により一部業種に不透明感</u> 公共・社会インフラ分野は堅調に推移するものの、業種によっては米国の関税政策の影響や、
 - 公共・社会インププが野は堅調に推修するものの、業種によっては不国の関税政策の影響や それに伴う中国、欧州の景気減速などにより、不透明感は依然として継続すると見込む。
- ●システムマネジメント事業は緩やかながら堅調な推移を見込む
 - 一部主要顧客のシステム投資は堅調に推移するが、海外経済減速の影響を懸念。
- ●その他事業は既存顧客の深堀り、新規開拓営業の強化策を継続し、受注増を見込む

2026年3月期通期連結業績見通し



(単位:百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 通期予想	前期比	
売上高	24,968	25,000	+ 31	+0.1%
営業利益	3,077	3,100	+ 22	+ 0.7%
経常利益	3,403	3,340	△ 63	△ 1.9%
当期純利益	2,367	2,270	△ 97	△ 4.1 %

2026年3月期通期連結業績見通し(セグメント別)



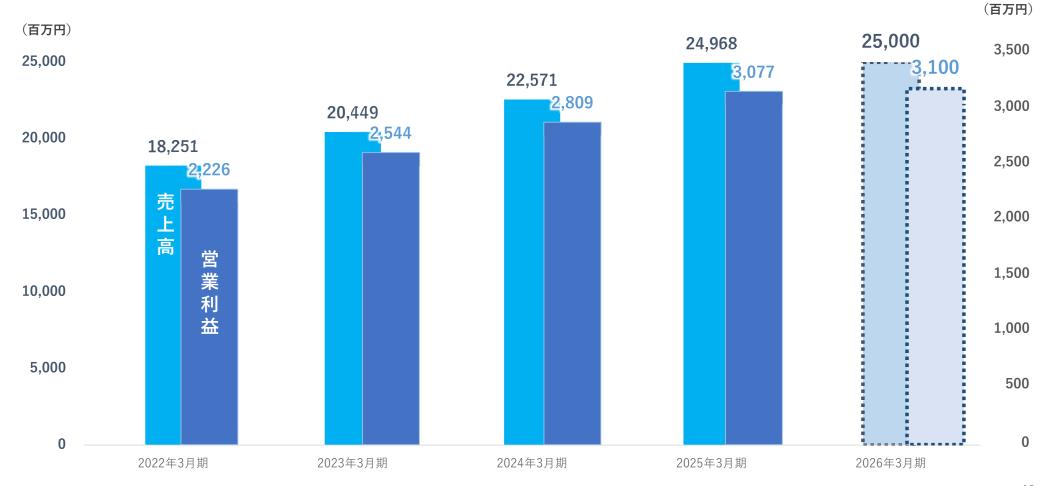
(単位:百万円)

	2025年3月期 実績		2026年3月期 通期予想		増減額	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
システム開発事業	17,282	2,263	17,290	2,280	+7	+16
システム マネジメント事業	5,829	602	5,840	610	+10	+8
その他事業	1,855	206	1,870	210	+14	+4
連結計	24,968	3,077	25,000	3,100	+31	+22

2026年3月期通期連結業績見通し(5年推移)



●売上高、営業利益、<u>いずれも過去最高</u>を予想しています





- 1.2026年3月期第2四半期(中間期)連結決算概要
- 2.2026年3月期通期連結業績見通し
- 3.トピックス
- 4. 株主還元

付録:会社概要/データ資料



AI画像認識技術の共同研究 - Pardral バルドラール浦安との取り組み



●プロフットサルチーム・バルドラール浦安と共同研究を開始(2025年7月)

バルドラール浦安が、当社のAIに関する研究開発の取り組みや顧客への最適化を目指すソリューション開発姿勢に共感し実現。 汎用カメラで撮影した映像をもとに、AIのトラッキング技術を活用して選手の走行距離やスピードをデータ化します。 結果を選手の強化、怪我の予防に活用するとともに、スコアに表れにくいチームへの貢献を可視化するなどデータ分析手法を 検証し、2026-2027 シーズンでの実用化を目指します。なお本研究は、これまで実施してきた顔認証や転倒防止などの画像認識 に関する研究の延長線上と位置付けております。

●バルドラール浦安

●共同研究概要

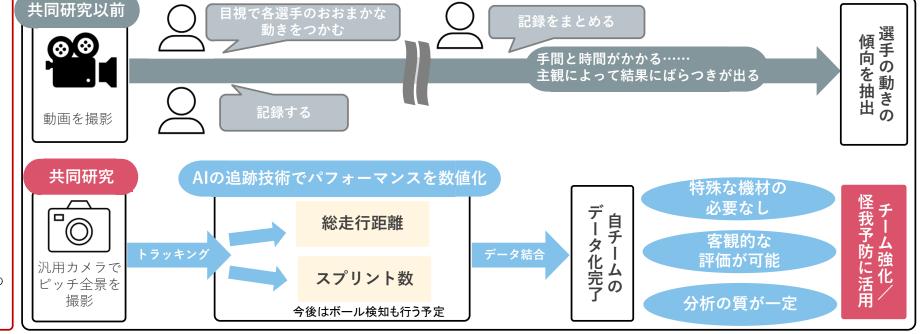


日本フットサルリーグ ディヴィジョン1 (F1リーグ) 所属 本拠地: 千葉県浦安市

地域密着型クラブとして選 手育成とフットサル文化の 普及に取り組む。

また、「地域社会に愛され るクラブ」を理念に掲げ、 こども向けのプロジェクト やホームタウン活動など、 地域貢献活動にも積極的に 行う。

2024-25シーズンでは念願の 初優勝も達成。さらなる飛 躍を目指す。



千葉大学との取り組み (産学連携)



普遍教育・ローカルイノベーション学の講義を担当

7月9日、オムニバス形式の講義「世界遺産のまちから学ぶ~ 佐原の大祭とまちづくり」で当社社員が講師を務めました。

まちづくりの現場での取り組みと意義を伝える本講義は、全学 共通教養教育科目に位置付けられています。さらに地域産業・イ ノベーションや地域・コミュニティに関する幅広い教養に加え、 地域再生の知識、実践力を身に付ける全学副専攻プログラム 「ローカルイノベーション学」の指定科目にもなっています。

当日は「企業と地域の関わり」をテーマに、当社が事業活動を 行う中で佐原地区から得られた知見を講義しました。

講義終盤では学生から質問が相次ぎ、双方で盛り上がる充実した回となりました。



当日は100名以上の学生が出席



受講者の質問に応じる当社社員

修 住原のあした が単位認定対象になりました

佐原のあしたPROJECTが、本年度の千葉大学アントレプレナーシップセンターの科目「**アントレプレナーのためのインターン** (**国内**) | として単位認定されました。

当社が主催する佐原のあしたPROJECTは、千葉大学が推進する 実践型教育の一環として位置づけられ、本プログラムに参加し、 条件を満たした学生には単位が付与されます。

今回参加した学生は「山田ふるさと農園プロジェクトver0.5」のメンバーとして、「農業体験をしたい」というニーズと農園の活性化を繋げるアイデアを発表。審査員からも高い評価を得ました。

当社は今後も大学と連携し、次の世代のイノベーション創出の 担い手の育成に努めてまいります。



発表の様子



受賞者集合写真

オフィス拡張 (NID・MI)



●2025年6月16日、グループ会社NID・MIが事業拡大に伴いオフィスを拡張しました。

執務スペース



執務スペースは広々とした空間を意識し、テレブース、ミーティングブース、プロジェクトルームをあわせて設置。全体的に落ち着いた雰囲気で開放感があり、ON・OFFのメリハリがつきやすい働きやすいオフィスとなっています。

リフレッシュエリア





リフレッシュエリアは社員の憩いの場になれるような空間を意識し、緑豊かな木と天然木材のベンチを設置。心が落ち着く公園のような佇まいを演出しました。また室内からは東京湾全体が一望できるため、開放感あふれる癒しのエリアとなっています。

■新エリア概要

住所:千葉県千葉市美浜区中瀬1-6 m BAY POINT 幕張18階 (既存オフィスの拡張)

面積:約275坪(既存オフィスと合算すると約550坪)



- 1.2026年3月期第2四半期(中間期)連結決算概要
- 2.2026年3月期通期連結業績見通し
- 3.トピックス

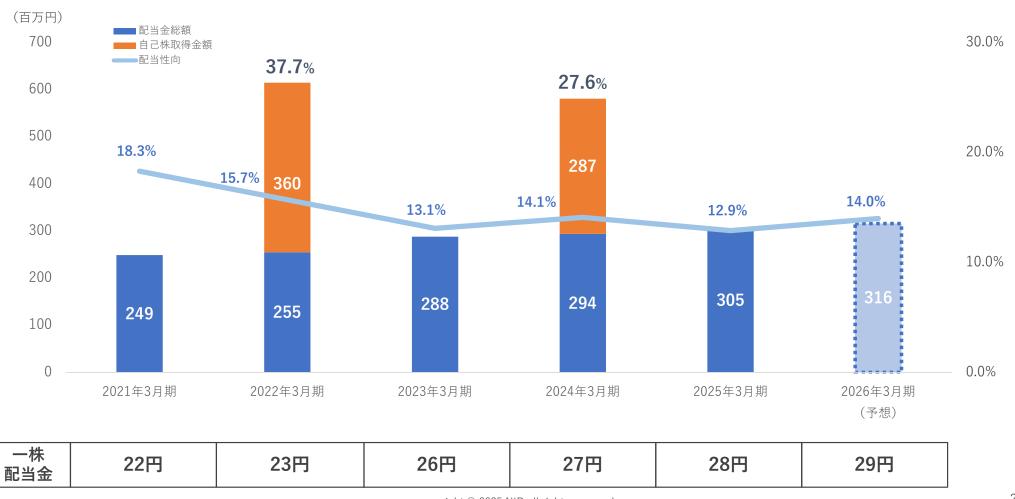
4. 株主還元

付録:会社概要/データ資料

株主還元



●期末配当予想は1株あたり29円(5年連続増配)といたします。





ご清聴ありがとうございました



- 1.2025年3月期第2四半期(中間期)連結決算概要
- 2.2025年3月期通期連結業績見通し
- 3.トピックス
- 4. 株主還元

付録:会社概要/データ資料

主要な経営指標推移



(単位:百万円

	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期 (予想)
売上高	18,251	20,449	22,571	24,968	25,000
増減率	(+3.2)	(+12.0)	(+10.4)	(+10.6)	(+0.1)
営業利益	2,226	2,544	2,809	3,077	3,100
率(対売上高)	(12.2)	(12.4)	(12.4)	(12.3)	(12.4)
増減率	(+19.0)	(+14.3)	(+10.4)	(+9.5)	(+0.7)
経常利益	2,466	2,742	3,126	3,403	3,340
当期純利益	1,631	2,210	2,108	2,367	2,270
率 (対売上高)	(8.9)	(10.8)	(9.3)	(9.5)	(9.1)
増減率	(+19.6)	(+35.5)	(△4.6)	(+12.3)	(△4.1)
1株あたり 当期純利益(EPS)	145.66	199.03	191.83	216.66	207.77
純資産	16,101	17,911	19,709	21,529	
株主資本利益率(ROE)	10.4%	13.0%	11.2%	11.5%	
1株あたり配当額	23円	26円	27円	28円	29円
配当性向	15.7%	13.1%	14.1%	12.9%	14.0%
社員数(連結)	1,507	1,553	1,602	1,652	
採用人数	102	135	145	124	

	(単1
25年3月期	26年3月期
中間期	中間期
11,996	12,774
(+13.7)	(+6.5)
1,521	1,446
(12.7)	(11.3)
(+24.2)	(△5.0)
1,715	1,565
1,130	1,081
(9.4)	(8.5)
(+22.0)	(△4.3)
103.44	99.03
20,322	22,619

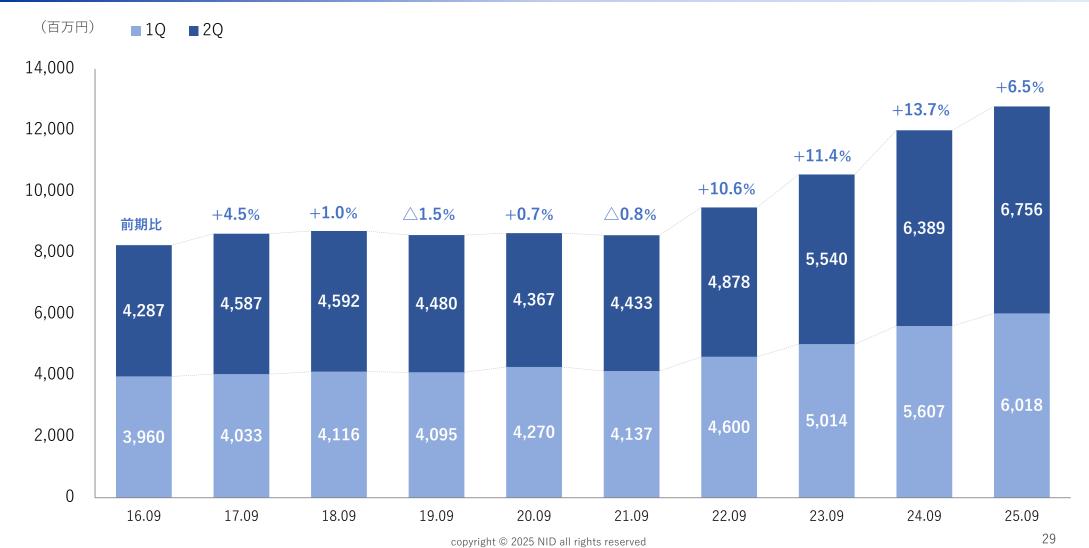
株価と出来高の推移





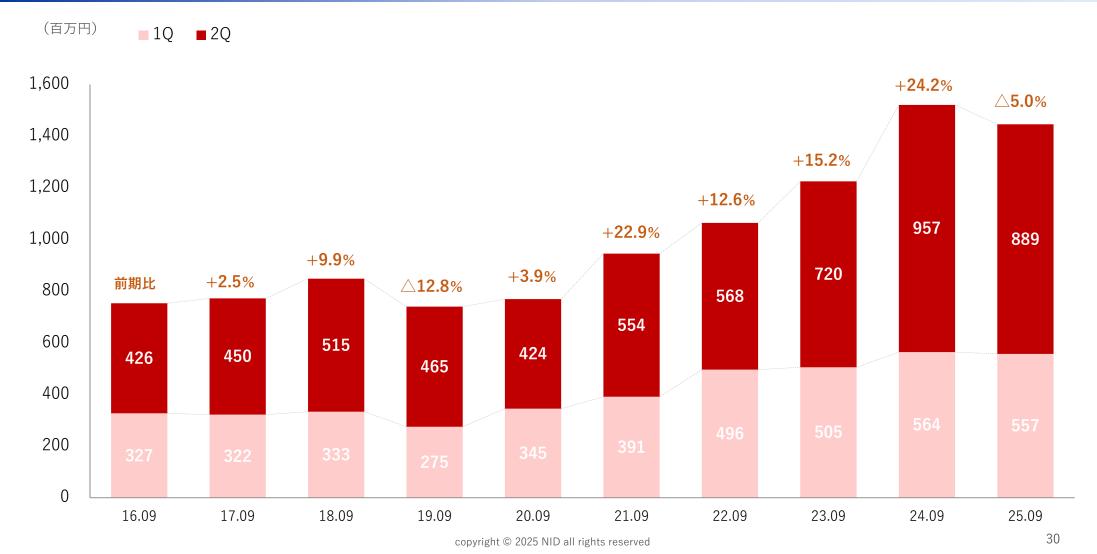
中間期売上高の推移(2016.9~2025.9)





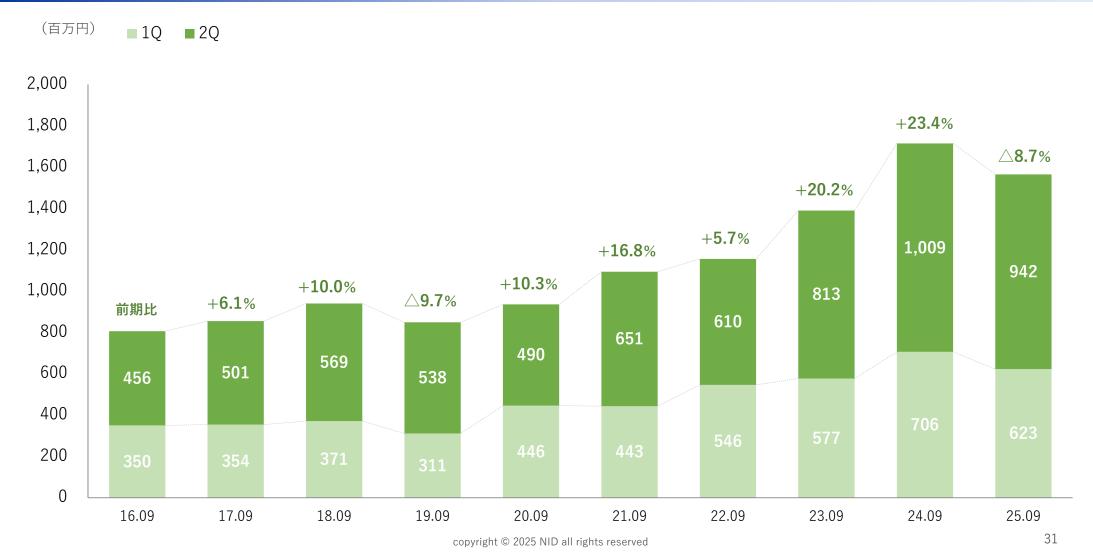
中間期営業利益の推移(2016.9~2025.9)





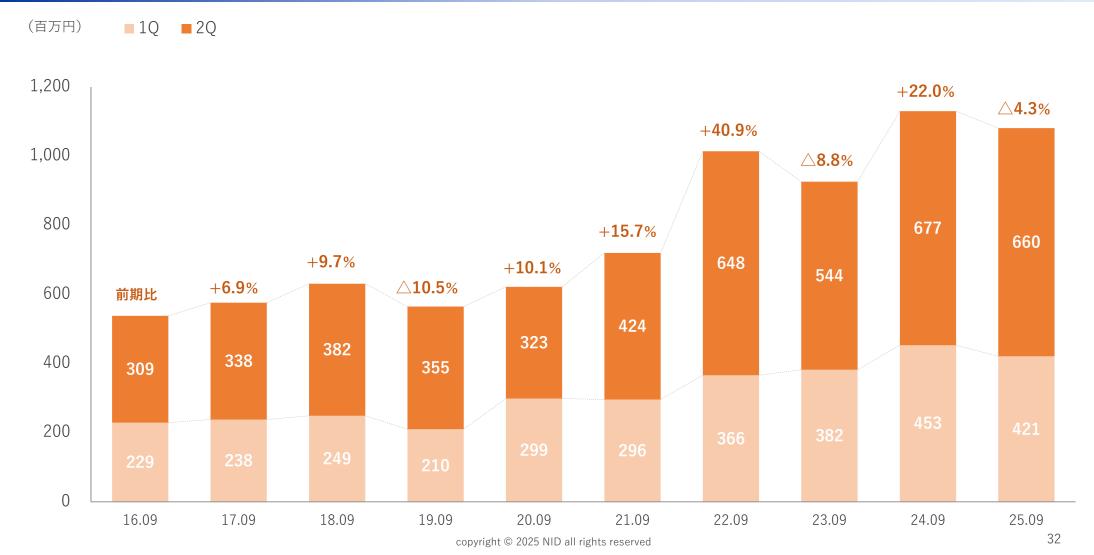
中間期経常利益の推移(2016.9~2025.9)





中間純利益の推移(2016.9~2025.9)





会社概要



社 名	株式会社エヌアイデイ (英社名:Nippon Information Development Co.,Ltd.)
所 在 地	東京都中央区晴海1-8-10
設 立	1967年5月
資 本 金	6億5,335万円
事業内容	システム開発事業、システムマネジメント事業、その他事業
連結子会社	4社(NID・MI<千葉県>、NID東北<宮城県>、NID air<東京都>、テニック<東京都>)
社 員 数	連結:1,728名 単体:1,119名(2025年9月末現在)
発行済株式数	13,109,490株
株 主 数	800名(2025年9月末現在)

事業の概要



